

第5期雄武町総合計画前期基本計画 施策評価調書（兼政策評価基礎調書）

政策目標	1	はつらつ・雄武	整理番号	16
基本施策	5	観光の振興	評価 責任者	産業振興課長 石井 弘道
単位施策	2	雄武観光の魅力化		財務企画課長 佐々木幸博

1 施策の概要

基本方針	釣りや流水ウォーク、自然鑑賞、農・水産加工等を体験メニュー化し、住民の協力を得ながら、滞在型観光の取り組みと、地域イベントの充実・連携を進める。	
現状と課題	【現状】（平成21年度末）	【現状】（平成23年度末）
	日の出岬を中心とした観光施設の中で情報発信をしたり、秋のイベント「うまいもんまつり」を新たに行いながら、雄武の魅力の情報発信を行っている。	日の出岬を中心とした観光施設の中で情報発信をしたり、秋のイベント「うまいもんまつり」を行いながら、雄武の魅力の情報発信を行っている。
	【課題】（平成21年度末）	【課題】（平成23年度末）
	本物の食の魅力を堪能できる施設や滞在型観光の取り組み課題である。	本物の食の魅力を提供をできる仕組みや滞在型観光の取り組み、さらには既存資源や第1次産業を活かした観光の推進が課題であり、今後、旅行会社と連携を図り、観光客を呼び込むツアーなどを企画し観光客増加を目指す必要がある。

2 基本施策指標

指標1	指標名	観光の満足度						
	定義等	まちづくりアンケートにおける観光の満足度						
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							20%
	実績値	13%（H18）	（未調査）	（未調査）	（未調査）	17.40%		
指標2	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標3	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標4	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標5	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標6	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標7	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							

3 単位施策を構成する事務事業の評価結果等

【貢献度の区分 A：高い B：やや高い C：やや低い D：低い E：なし】

No.	事務事業名	担当係名	23年度 決算額 (千円)	総合評価	今後の 展開方向	単位施策への 貢献度
①	癒しのエリア振興調査事業	企画調整係	0	D	休止	E
②	日の出岬未開発区域整備調査事業	企画調整係	0	D	休止	E
③	観光施設維持管理事業	商工観光係	7,502	A	継続/現状維持	A
④	メモリアル広場等維持管理事業	商工観光係	2,237	A	継続/現状維持	A
⑤	サンライズ王国運営助成事業	商工観光係	1,500	B	継続/現状維持	B
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						
⑬						
⑭						
⑮						

4 施策の個別評価【A：評価が高い B：やや高い C：やや低い D：低い】

評価の視点	評価結果	理由、説明等
① 妥当性	A	各種施策により、魅力あふれる事業展開を推進することが妥当と判断する。
② 有効性	C	魅力的な観光拠点のあり方や、より有効なり活用方法を調査・研究する、具体的な進展とはなっていない。
③ 効率性	C	既存の観光資源を活かした中で、今後魅力的な観光拠点のあり方を調査・研究する具体的な進展とはなっていない。
④ 公平性	A	地域観光振興に有益的に活用されていることから、公平性が保たれていると判断する。
⑤ 町民意見の反映	B	町民の意見を聞く場は設けていないが、関係団体との協議等により反映している。

5 総合評価【A～D】

A：政策目標の達成に効果的であり、現在の施策を継続することが必要 等

B：政策目標の達成に効果的であるが、具体的な課題の解決に向けて一部取組を改善するなど、施策を充実することが必要 等

C：政策目標がほぼ達成されていることから、施策が一定の役割を終えつつあり、終期を見据えて縮減することが必要 等

D：(1)政策目標の達成に効果的であるが、事業構成が十分ではなく、新たな事業構築など取組を全体的に見直すことが必要 等

(2)政策目標の達成に向けた効果が認められないことから、施策の廃止も含めて抜本的に見直すことが必要 等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
B	B	
各種施策においては、住民ニーズを把握し魅力ある事業展開を図っているところであり、関係機関との連携をしながら、今後においても必要不可欠な施策である。	同左	

今後の方向性	継続/現状維持	継続/現状維持
<div style="text-align: center;"> </div>	<div style="text-align: center;"> </div>	<div style="text-align: center;"> </div>
各関係機関との連携を強化し住民を巻き込んだ事業展開を図り、併せて観光スポットのルート化を確立するなど、今後においても継続していく必要がある。又、旅行会社と連携を図り、観光客を呼び込むツアーなどを企画し観光客増加を目指す必要がある。	同左	
＊今後の方向性の区分 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○終了 ○休止 ○廃止		